

「早稲田リサーチパーク地区」と「本庄早稲田駅周辺地区」
 におけるオオタカ保護対策と開発事業に関する経緯

期 間	オオタカの生息状況	保護対策の検討・実施	開発にかかわる推移
●1970年代～	埼玉県内では、狭山丘陵と並ぶ古くからのオオタカ繁殖地として知られる		
●1998年 (平成10年)	1月 '98年は、東地区に営巣するが抱卵段階で繁殖失敗	本庄新都心地区の開発計画に伴い、環境庁および埼玉県のオオタカ保護指針に基づく生態調査が開始され1999年8月まで実施される	リサーチパーク地区開発全体計画の当初案が検討される
●1999年 (平成11年)	11月 '99年は、東地区から西地区へ営巣地点を移動するも抱卵段階で繁殖失敗	学識者や関係機関で構成された「本庄新都心地区環境対策検討委員会」が設置される	リサーチパーク地区開発全体計画第2案が、検討委員会に提示される
●2000年 (平成12年)	2月	検討委員会が「本庄新都心地区オオタカ保護対策」を提言。この間に2回の検討委員会、3回の幹事会、9回の学識委員ヒアリングを実施	検討委員会提言により開発全体計画の修正案(第3案)が決定計画となる
	9月		「早稲田リサーチパーク地区環境影響評価調査計画書」が、埼玉県へ提出される
●2002年 (平成14年)	3月 '01年より、東地区の高枝隣接地に営巣地点を移動して繁殖 '01年は幼鳥1羽が巣立ち、'02年は抱卵段階で繁殖失敗		「早稲田リサーチパーク地区環境影響評価調査計画書」が公表される。開発全体計画が確定し、リサーチパーク地区の工事着手へ
	5月～	工事箇所隣接地にオオタカ営巣地が存在することから、検討委員会・学識委員3名へ第1回意見聴取を実施。非繁殖期の9月から工事を開始	
●2003年 (平成15年)	1月	オオタカ営巣地の北側グラウンドで繁殖期間中の工事実施が避けられないことから、学識委員3名へ第2回意見聴取を実施。工事監視モニタリング等の対応が提言される	
	2月		「本庄新都心地区土地区画整理環境評価書」が公表される
	3月		「本庄新都心地区土地区画整理事業」(153.8ha)が、都市計画決定される
	4月～8月	'03年は、前年に引続き高枝隣接地に営巣し、3羽が巣立ちに成功。巣立ち後1羽が建物に衝突し、死亡	
	5月	学識委員の意見に基づき、工事監視モニタリングが4月から8月まで実施される。工事の影響が及ばず、無事に幼鳥が巣立つ	「リサーチパーク地区」工事が目に見えて進展する段階となり、オオタカ保護との関係が注目を集める。5月24日に毎日新聞、5月31日に朝日新聞が報道

●2004年 (平成16年)	3月	既存繁殖ペアのみが事故死し、それに伴い別の成鳥が侵入し、東地区と西地区で計2ペアが繁殖開始		上越新幹線「本庄早稲田駅」が開業
	11月		環境NPOから「オオタカ保護に関する質問状」が提出され、検討委員会として対応を協議し回答	
●2005年 (平成17年)	4月	前年に引続き、東地区と西地区で計2ペアの繁殖が継続。東地区は、巣が移動		
●2006年 (平成18年)	4月	前年に引続き、東地区と西地区で計2ペアの繁殖が継続。西地区では、営巣地点が工事区域から直接距離300m地点へ移動		
	9月			「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業」(約65ha)の事業計画認可
	10月		「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第1回環境対策調整会議」の開催	
	11月			「本庄早稲田駅周辺地区」の工事着手
	12月		「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第2回環境対策調整会議」の開催	大久保山東端尾根部の伐採工事が進行
●2007年 (平成19年)	4月	前年に引続き、東地区と西地区で計2ペアでの繁殖が継続。西地区では、巣が移動	都市機構が「工事段階におけるオオタカ保護対策(案)」策定し、学識委員3名へ意見聴取を実施 「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第3回環境対策調整会議」の開催	
	7月		「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第4回環境対策調整会議」の開催 早稲田大学と都市機構が、非繁殖期以降の工事工程と今後の開発計画について、学識委員3名へ意見聴取を実施	
●2008年 (平成20年)	2月			「早稲田リサーチパーク地区」(約65.3ha)の整備計画の修正を、早稲田大学理事会が承認
	4月	前年に引続き、東地区と西地区で計2ペアでの繁殖が継続。東・西両地区ともに、巣が移動		
	5月		都市機構が、履行中工事におけるオオタカ保護対策について、学識委員3名へ意見聴取を実施	
	8月		早稲田大学が、リサーチパーク地区整備計画における大学の対応について、学識委員3名へ意見聴取を実施	
	9月		「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第5回環境対策調整会議」の開催	
	11月		都市機構が、オオタカ工事監視モニタリングの継続対応について、学識委員3名へ意見聴取を実施	「早稲田リサーチパーク地区」の修正整備計画を、埼玉県が認可

●2009年 (平成21年)	2月		「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第6回環境対策調整会議」の開催	
	4月	前年に引き続き、東地区と西地区で計2ペアでの繁殖が継続。西地区では巣が移動。7月西地区で1羽が巣立ち		
●2010年 (平成22年)	3月		「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第7回環境対策調整会議」の開催	
	4月	西地区では、成鳥♂の死亡に伴い、繁殖に至らず。東地区では、前年と同じ巣で繁殖するが、巣立ち後に失敗		
	7月		都市機構が、区画整理事業地区の基盤整備工事とカインズ本社ビル建設工事等の対応について、学識委員3名へ意見聴取を実施	
	8月		「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第8回環境対策調整会議」の開催	9月よりカインズ本社ビル建設工事に着手
●2011年 (平成23年)	1月		「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第9回環境対策調整会議」の開催	
	4月	東地区では、前年と同じ巣で抱卵を確認。西地区では、成鳥♀が他地区(吉井)に移って抱卵		
	5月	東地区の抱卵は失敗し、育雛までは至らず。西地区も、吉井での繁殖が失敗し、成鳥♀が西地区へ戻る		
	8月		盛土造成工事が実施される栗崎地区で自然環境調査と対策検討を実施	
	10月		都市機構が栗崎地区環境対策について、学識委員3名へ意見聴取を実施	
	12月		「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第10回環境対策調整会議」の開催	栗崎地区盛土整備工事の実施
●2012年 (平成24年)	4月	東地区で、営巣抱卵が確認されたが、抱卵段階で繁殖失敗。西地区では、雌が継続的に出現したものの、繁殖は認められず		
	12月		栗崎地区メガソーラー計画とJA埼玉ひびきの計画の環境対策について、学識委員3名へ意見聴取を実施 「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第11回環境対策調整会議」の開催	
●2013年 (平成25年)	6月	東地区では、4年継続した巣で繁殖せず、新規営巣も見られず。西地区では、新たな巣で育雛段階まで確認されたが、6月上旬に繁殖失敗		
	11月		オオタカの繁殖失敗を踏まえ、栗崎地区メガソーラー計画の工事に関し、6月～11月に学識委員3名へ意見聴取を実施	「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業」の都市機構による工事が完了(2006年11月～2013年11月計7年間事業)
	12月		「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業第12回環境対策調整会議」の開催	2013年にて、都市機構の事務局による環境対策調整会議は終了

●2014年 (平成26年)	1月		都市再生機構本庄都市開発事務所が事業者として、「本庄新都心土地区画整理事業に係る事後調査書(工事中)」を作成し公表	
	3月	東地区では、新巣が確認されたが、4月の造巣段階で失敗。西地区でも、新巣が確認されたが、6月の育雛段階で繁殖失敗		
	12月		2010年以降5年連続してオオタカが繁殖失敗していることから、今後の区画整理事業等における環境対策の進め方について、学識委員3名へ意見聴取を実施 本庄市都市計画課の事務局による「平成26年度本庄早稲田の杜環境対策調整会議」の開催	
●2015年 (平成27年)	5月	東地区では、昨年と同じ巣で抱卵が確認されたが、5月段階で失敗。西地区では、成鳥ペアの存在が未確認となる	区画整理事業の建設工事等による自然環境の改変事業は実施されなかったため、環境対策調整会議は、未開催	
●2016年 (平成28年)	2月		オオタカが6年連続して繁殖失敗し、かつ2ペアから1ペアに減少したことを踏まえ、2月～3月に学識委員3名へ意見聴取を実施	
	4月	東・西の両地区でない、新規場所で営巣と抱卵を確認。6月下旬まで2羽の巣内雛が認められたが、その後巣から雛が消失し繁殖失敗		
	12月		早稲田本庄高等学院生徒寮新築工事に伴う環境対策等について、学識委員3名の意見聴取を実施 「平成28年度本庄早稲田の杜環境対策調整会議」の開催	
●2017年 (平成29年)	4月	東地区では、4月に新巣での抱卵が確認され、7月に3羽が巣立ち、7年振りとなる繁殖が成功。別ペアによる昨年巣では、抱卵段階で繁殖失敗	建設工事等による自然環境の改変工事は実施されなかったため、環境対策調整会議は未開催	
●2018年 (平成30年)	4月	東地区では、昨年と同じ巣で4月に抱卵が確認され、7月に3羽の巣立ちが認められ繁殖が成功。他の繁殖ペアは、出現は認められたが非繁殖		
	6月		早稲田本庄高等学院体育館新築工事等の環境対策について、学識委員3名へ意見聴取を実施 「平成30年度本庄早稲田の杜環境対策調整会議」の開催	
	9月			3ヶ年の工程による早稲田本庄高等学院体育館新築工事に着手
●2019年 (令和元年)	3月		埼玉県・本庄市が「本庄新都心土地区画整理事業に係る環境影響評価事後調査計画」を作成	
	4月	東地区の昨年と同じ巣で、4月に抱卵が確認され、7月に1羽の巣立ちが認められ繁殖が成功		
	12月		土地区画整理事業地内でオオタカ環境対策に取り組んできた4事業者(カインズ/賛光精機/埼玉ひびきのJA/早稲田大学)からの報告も含めた、「令和元年度本庄早稲田の杜環境対策調整会議」の開催	

●2020年 (令和2年)	1月		「本庄新都心地区環境影響評価事後調査計画書」の内容に関して、学識委員3名へ意見聴取を実施	
	4月	東地区で、南方150m地点に新巣が確認され、4月に抱卵し6月に3羽の巣立ちが認められ、繁殖が成功		
	9月		「本庄新都心地区環境影響評価事後調査計画書」の修正に関して、学識委員3名へ意見聴取を実施	
	11月		「令和2年度本庄早稲田の杜環境対策調整会議」の開催	

「巣から400mは工事中断」
オオタカ 縦割りの壁
朝日 2002.5.31

公園別の部「約束破る」

市とJRは冷ややか

早大 オオタカに困った

計画変更したら巣も移動

建設工事が本格化する段階では、オオタカの保護と開発の調和への関心が高まりました。環境対策調整会議と学識委員ヒアリングは、具体的な調和策を検討し実現する仕組みとして、有効に機能しています。それは、モニタリング調査に基づく『オオタカの継続的な繁殖確認』が指標となります。